

広島県におけるアトピー性皮膚炎患者
に関する実態調査(第1報)
患者数の全県調査のための
予備調査及び健診とアンケート調査の検討

出典 広島医学(0367-5904)54巻12号 Page1024-1029(2001.12)
(<http://search.jamas.or.jp/link/ui/2002161891>)

著者 山本昇壯 他

調査地域 広島県

調査時期 2000年

調査対象 7歳~12歳

依頼数 511人

回収率 98%

有効回答率 100%

診断方法 医師による診察
UKWPに基づく日本語質問票

有症率 検診 : 15.5%
調査票 : 16.6%

調査概要 AD患者の有症率調査のための予備調査をした。専門医診察による有症率は15.5%であった。調査票では16.6%であった。調査票では中等症以上に限定した方が、また高学年の児童の方が特異性が高かった。